

# 「邪馬台国遥かなり」

田島榮一著

日本古代史最大の謎「邪馬台国は何処にあつたのか」に市井の歴史愛好家が挑んだのが本書。謎を謎たらしめている「魏志倭人伝」の記述の矛盾点、長過ぎる里数、かかり過ぎる日数、方位の狂いなどを、工学修士らしい理系の詰め方で一つ一つ解明していく。

著者の推論の過程は省略するが、「邪馬台国は何処に」の答えはズバリ「熊本平野」。「徑(径) 百餘(余) 歩」(魏志倭人伝)とされる女王卑弥呼の墓のありかは…。邪馬台国の上に住んでいるのかと思うと、県民としてワクワクしている。

(百年書房・1296円)

邪馬台国遥かなり

田島榮一